

## たばこの警告文について

ここでは、日本たばこ（JT）の国内向け表示とヨーロッパ連合（EU）の表示を示しました。私は、喫煙の害について写真を多用して強く訴える EU の表示と、文字のみを多く使い読みにくく表示しているように見える JT との差にびっくりしました。どちらも同じ商品（タバコ）の健康に関する情報には変わりありません。製造物責任法では、製品の危険についての警告が適切に示されることが求められています。私たちの身の回りには、健康に関する誇大宣伝や過小評価など、真実を読みあやまる情報が満ち溢れています。正しい判断に行き着くには、多くの情報を集めて検証することしかありません。健康に対して鵜呑みにせず、納得いくまでは常に疑いながら勉強する態度が必要です。



日本の警告文は写真がなく、消費者に喫煙の害を過少に伝えたい意図を感じます。

日 本	<b>注意文言(1990.7~2005.6 たばこ事業法 39 条、同法施行規則 36 条)</b>		
	あなたの健康を損なうおそれがありますので吸いすぎに注意しましょう		
	<b>注意文言(2005.7~ たばこ事業法 39 条、同法施行規則 36 条)</b>		
	A,B 各群から 1 種類ずつをたばこ製品の包装の主要な 2 面へそれぞれ 30%以上の面積を使って表示する。		
	A	1.	喫煙は、あなたにとって肺がんの原因の一つとなります。 疫学的な推計によると、喫煙者は肺がんにより死亡する危険性が非喫煙者に比べて約 2 倍から 4 倍高くなります。 (詳細については、厚生労働省のホーム・ページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html">www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html</a> をご参照ください。)
		2.	喫煙は、あなたにとって心筋梗塞の危険性を高めます。 疫学的な推計によると、喫煙者は心筋梗塞により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約 1.7 倍高くなります。 (詳細については、厚生労働省のホーム・ページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html">www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html</a> をご参照ください。)
		3.	喫煙は、あなたにとって脳卒中の危険性を高めます。 疫学的な推計によると、喫煙者は脳卒中により死亡する危険性が非喫煙者に比べて約 1.7 倍高くなります。 (詳細については、厚生労働省のホーム・ページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html">www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html</a> をご参照ください。)
		4.	喫煙は、あなたにとって肺気腫を悪化させる危険性を高めます。 (詳細については、厚生労働省のホーム・ページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html">www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html</a> をご参照ください。)
	B	5.	妊娠中の喫煙は、胎児の発育障害や早産の原因の一つとなります。 疫学的な推計によると、たばこを吸う妊婦は、吸わない妊婦に比べ、低出生体重の危険性が約 2 倍、早産の危険性が約 3 倍高くなります。 (詳細については、厚生労働省のホーム・ページ <a href="http://www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html">www.mhlw.go.jp/topics/tobacco/main.html</a> をご参照ください。)
		6.	たばこの煙は、あなたの周りの人、特に乳幼児、子供、お年寄りなどの健康に悪影響を及ぼします。喫煙の際には、周りの人の迷惑にならないように注意しましょう。
7.		人により程度は異なりますが、ニコチンにより喫煙への依存が生じます。	
8.		未成年者の喫煙は、健康に対する悪影響やたばこへの依存をより強めます。周りの人から勧められても決して吸ってはいけません。	

ヨーロッパ連合（EU）の喫煙被害の警告です。警告文と写真を組み合わせて、喫煙者に害を知らせています。

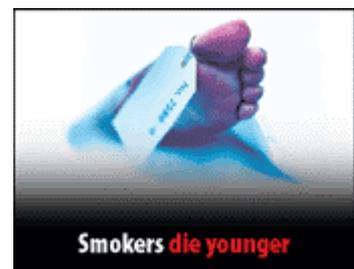
【Smoking kills】の部分に以下の写真を選んで付ける



喫煙者は寿命より若死にする。一生喫煙を続けると寿命が14年縮まる。



喫煙者は早死にする。



喫煙者は早死にする。



喫煙は動脈を詰まらせ、心臓発作や脳卒中の原因となる。喫煙者は脳卒中になる危険性が50%増す。



喫煙は動脈を詰まらせ、心臓発作や脳卒中の原因となる。



喫煙は動脈を詰まらせ、心臓発作や脳卒中の原因となる。



喫煙は致命的な肺ガンの原因となる。



喫煙は致命的な肺ガンの原因となる。



喫煙は致命的な肺ガンの原因となる。



喫煙は依存性が強い。始めないに限る。



喫煙は依存性が強い。始めないに限る。



喫煙は依存性が強い。始めないに限る。



禁煙は致命的な心臓や肺の病気の危険性を減らす。禁煙後1年で冠状動脈性心臓病の危険性は50%減る。



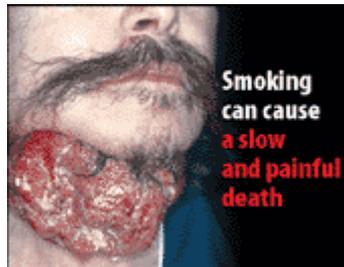
禁煙は致命的な心臓や肺の病気の危険性を減らす。



禁煙すれば、致命的な心臓や肺の病気の危険性が減る。



喫煙は長い苦痛を伴う死の原因となりやすい。



喫煙は長い苦痛を伴う死の原因となりやすい。



喫煙は長い苦痛を伴う死の原因となりやすい。



喫煙は肌の老化の原因となる。



喫煙は肌の老化の原因となる。



喫煙は肌の老化の原因となる。

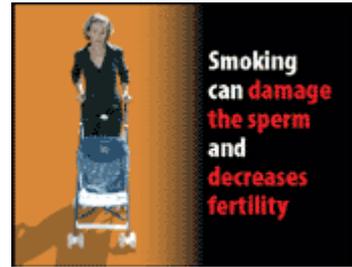
日本の警告文は、喫煙習慣が妊娠や性機能に害を及ぼすかもしれない、など今すぐに害があることについて、伝えようとしていません



喫煙は精子を傷つけ妊娠をしにくくする。



喫煙は精子を傷つけ妊娠をしにくくする。



喫煙は精子を傷つけ妊娠をしにくくする。



喫煙は精子を傷つけ妊娠をしにくくする。



喫煙は血流を減らし、インポテンツの原因となることもある。



喫煙は血流を減らし、インポテンツの原因となることもある。



タバコの煙はベンゼン、ニトロサミン、ホルムアルデヒド、青酸ガスを含む。



タバコの煙はベンゼン、ニトロサミン、ホルムアルデヒド、青酸ガスを含む。



タバコの煙はベンゼン、ニトロサミン、ホルムアルデヒド、青酸ガスを含む。



妊娠中の喫煙は赤ちゃんに害を与える。



妊娠中の喫煙は赤ちゃんに害を与える。



子どもを守りなさい。あなたのタバコの煙を吸わせてはいけない。



子どもを守りなさい。あなたのタバコの煙を吸わせてはいけない。



子どもを守りなさい。あなたのタバコの煙を吸わせてはいけない。



子どもを守りなさい。あなたのタバコの煙を吸わせてはいけない。



医師や薬剤師に相談すれば、禁煙の手助けが得られる。あなたならできます。私たちが手伝います。



医師や薬剤師に相談すれば、禁煙の手助けが得られる。喫煙は重いニコチン依存です、勇気を出して手助けを求めましょう。



医師や薬剤師に相談すれば、禁煙の手助けが得られる。



禁煙の手助けを頼もう。  
〇〇番へ電話をください。  
自由を私たちが手伝います。



禁煙の手助けを頼もう。  
〇〇番へ電話をください。



禁煙の手助けを頼もう。  
〇〇番へ電話をください。

ここで用いた図表は、以下のホームページを参考にしました。

<http://www.pat.hi-ho.ne.jp/ten250/biyou/eu.html>

<http://www.health-net.or.jp/tobacco/menu06.html>

タバコに関する私たちの情報「中学生とタバコ」もご覧下さい。

<http://www.akita-epid.net/>

## 「たばこ規制枠組み条約」について

ついに日本でも4月から規制強化 喫煙による健康被害の防止を目指す「たばこ規制枠組み条約」が2005年2月27日発効した。たばこの消費を減らすため、5年以内の広告の原則全面禁止などを締約国の義務に盛り込み、課税強化も促している。批准国の日本でも、4月からの屋外広告禁止や禁煙教育の強化、分煙の徹底などが決まっており、先進国のなかで遅れていた規制が強化されることになる。世界保健機関（WHO）が主導する同条約は、国連本部があるニューヨークの27日午前0時（日本時間同午後2時）に発効した。たばこは、がんや心疾患、早産など様々な病気や異常につながるとされる。同条約は有害性を明記し、消費削減につながる課税強化、広告・販売促進・スポンサー行為の禁止規定などを盛り込んだ。主要包装面の原則5割以上を健康警告表示にあてること、たばこ自販機を未成年者が使えないようにすることも、締約国に義務づける。厚生労働省によると、日本の成人全体の喫煙率は長期的には低下傾向で、02年は24.0%（男43.3%、女10.2%）と5年間で5ポイント近く下がった。だが、高校3年生の喫煙率（00年）が男子36.9%、女子15.8%に上昇するなど、未成年者の喫煙が大きな課題。女性の喫煙率も横ばいだ。日本は、たばこ価格が先進国中で最低水準のうえ、飲食店や職場での禁煙が遅れるなど、規制が甘いことが背景にあると指摘される。WHOは課税強化による値上げは、特に若者層の消費減につながるとみている。政府は条約発効を受け、財務、厚生労働、文部科学など14省庁が連携し規制を強化する。電車・バスへの広告禁止に続き、4月からは屋外広告も禁止される。7月には「未成年者の喫煙は、健康に対する悪影響やたばこへの依存をより強めます」などの警告表示義務も加わり、未成年者を識別する自動販売機も導入される予定だ。規制強化を受け、日本たばこ産業（JT）は、3月末で屋外看板広告を打ち切り、「マイルドセブン・ルノー」などとして92年から参加してきたF1スポンサーからも、06年秋で撤退する。需要減少を見込み、従来の25工場を10工場に集約。需要減は、JT製品で最高価格（350円）の新製品「りん」の投入などでカバーする戦略だ。

朝日新聞（02/27 2005）

喫煙は、健康被害があることが健康増進法でもはっきりと謳われ、2004年5月19日に国会で承認された「たばこ規制枠組み条約」にともなう措置では、たばこの広告や包装、箱の表示など幅広い分野で喫煙習慣を抑制する対策を求めています。わが国では影響の大きいテレビでは自主規制を行い、喫煙を勧めるコマーシャルはしないようにしている一方で、ドラマなどで必要もないのに若者が憧れを持つ主役に喫煙をさせる場面が多いといわれています。

前の数ページで見てきたように、JTのたばこの全銘柄も2005年7月から箱に健康被害に関する具体的メッセージが表示されていますが、EUなどの表示と比べて、見劣りするものです。

タバコの価格は2006年7月1日から20円から30円値上げされました。値上げ幅は健康を考慮して、タバコ1本あたり10円との意見もありましたが、1本あたり1円の小幅な値上げに留まりました。タバコの価格を一箱1000円程度にすると、喫煙する人は1/3に減ることが予測されています。

## A. 喫煙規制のいろいろ

1) 分煙（建物内で喫煙場所を設置し、その中で喫煙する。**健康増進法**では、たばこの煙が完全に喫煙場所内からもれないように求めている）

目的：受動喫煙を予防するために喫煙者と非喫煙者を分ける

長所：喫煙者の利便性が高い

短所：設備にかかる費用が割高。喫煙者同士がお互いに受動喫煙をしあう。

戻ってきたときに、タバコ臭がしみつき、非喫煙者に不快な思いをさせる。

2) 全館禁煙（建物内ではたばこを吸わない。建物から出たところに喫煙場所を設置するのが一般的）

目的：建物内の完全なたばこなし環境を実現する

長所：喫煙者の利便性がやや損なわれ、結果として喫煙の抑止効果が期待できる

非喫煙者にとっては建物内での煙やにおいから完全に解放される

短所：建物外ではたばこのコントロールが不十分であり、建物外に喫煙場所の工夫をしなければならぬ。

隠れタバコによる火災の心配

3) 敷地内禁煙

目的：敷地内のたばこによる汚染を完全になくす

長所：喫煙者に対する喫煙の抑止効果が極めて大きい

学校などでは教育効果が期待できる

費用がかからない

短所：敷地の中のみであるため敷地外でのたばこのポイ捨てなど喫煙者のモラルが問題になる

4) 条例による地域内禁煙 東京都千代田区では<たばこ条例>路上喫煙2000円徴収

5) 航空機、JR 東日本の

## B 禁煙治療の流れ（禁煙外来）健康保険が使えます

